

東京農業大学大学院 学生募集要項

研究科目的	1
入学者受入方針及び学位授与方針	1
1. 入試制度	1
2. 入学定員・募集人員	2
3. 入学試験日程	3
4. 出願資格	4
5. 出願手続きの流れ	6
6. 出願時提出書類	7
7. 選抜方法及び試験科目	9
8. 合否判定基準	12
9. 試験当日に関して	12
10. 合格発表	13
11. 入学手続き	13
12. 学費	15
13. 大学院奨学生制度	16
14. 出願資格認定	18
15. 長期履修制度	19
16. 個人情報保護について・問い合わせ先	19

出願にあたっての重要事項

○出願を希望する方は、出願前に必ず希望指導（准）教授と面談し、今後の研究計画及び研究内容について相談をしてください。

○出願には「オンライン申請（WEB 出願）」と「書類の提出」の両方が必要です。

オンライン申請における不明点は学務課（[innogaku\(atmark\)nodai.ac.jp](mailto:innogaku(atmark)nodai.ac.jp)）までご連絡ください。

※WEB 出願システム上でお問合せいただいても回答できません。必ずメールでお問い合わせください。

※オンライン申請以外の問い合わせは各キャンパスの担当部署へご相談ください。（最終頁記載）

各教員のメールアドレス・出願方法については

下記 URL または右記 QR コードから確認してください。

<https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/application/>

※試験日程・内容等に変更が生じた場合は、東京農業大学大学院ホームページ「お知らせ」に掲載します。



研究科目的（大学院学則より抜粋）

【農学研究科】

本大学院農学研究科は、国内外の農学諸分野におけるフロンティアとして、見識と実力、さらに健全で調和のとれた人間性を有する研究者及び高度専門技術者の人材育成を目指し、実学主義教育のもと論理的思考力と問題解決能力の獲得及び向上を図り、生物資源、生命科学、環境科学、健康科学並びに経営・経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。

【応用生物科学研究科】

本大学院応用生物科学研究科は、人と環境が調和する生活を多元的に支える応用生物科学領域における高度な知識・技術・研究能力を身に付けた人材育成を目指し、実学主義教育のもと論理的思考力と問題解決能力の獲得及び向上を図り、生物生産・生物資源利用から食料・健康・環境・エネルギーといった広域の農学分野の教育・研究を行うことを目的とする。

【生命科学研究科】

本大学院生命科学研究科は、生命科学の学問領域において、その基本的な能力を身につけた人材が、微生物から高等生物に至るまで分子レベルでの機能解析や生物機能を制御する分子の創製などにおいて、より専門的な知識、技術、思考力を備えることで、地球規模での持続的な成長を実現するための問題解決に対応することが可能な能力を習得させることを目的とする。

【地域環境科学研究科】

本大学院地域環境科学研究科は、身近な地域から地球規模に至るまでの地域環境に関する諸問題における高度な理解力と課題解決のための専門知識、ならびに調和のとれた地域環境を構築するための生物資源の保全・利用・管理に関する専門知識と専門技術、さらに取り扱う諸問題の社会的意義を自覚し、責任感を持って課題解決にあたる事が出来る高度な倫理観と使命感を習得させることを教育研究上の目的とする。

【国際食料農業科学研究科】

本大学院国際食料農業科学研究科は、「実学主義」に基づいて農学・食品科学および経済学・経営学・人文科学にわたる総合的なアプローチにより、食料・農業・環境領域での各国・地域の特性を活かした発展の実現に向けた課題の解決に取り組む柔軟な判断力と分析能力および国際的視野に立った社会貢献の遂行能力を修得させることを目的とする。

【生物産業学研究科】

本大学院生物産業学研究科は、幅広い学問領域の知識を備え、高度な専門知識と能力および創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ人材の育成を目指し、生物産業学に関する実学の精神と文理融合の教育体系に基づき、北方圏の地域性を活用した農林水産に関わる生物資源、バイオテクノロジー、経営経済分野の教育・研究を行うことを目的とする。

入学受入方針（アドミッション・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

東京農業大学大学院のアドミッション・ポリシー及びディプロマ・ポリシーについては本学大学院ホームページ [東京農業大学大学院 → 大学院について → 教育研究上の目的・目標ならびに3方針](https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/about/policy/) <https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/about/policy/> から、必ず確認してください。

1. 入試制度

（1）2026年10月入学

【一般入試】 2026年度10月入学入試

（2）2027年4月入学

【一般入試】 2027年度1期入試／2027年度2期入試

【特別入試】 2027年度学内推薦入試／2027年度社会人特別選抜入試（環境共生学専攻以外の全専攻）
／2027年度環境共生学専攻社会人特別選抜入試

2. 入学定員・募集人員

課程	研究科	専攻	入学定員	一般入試募集人員			特別入試募集人員	
				10月入学	1期	2期	学内推薦	社会人
博士前期課程	農学	農学専攻	14名	若干名	5名	2名	7名	若干名
		動物科学専攻	12名		11名	1名		
		生物資源開発学専攻	10名		8名	2名		
		デザイン農学専攻	8名		4名	4名		
	応用生物科学	農芸化学専攻	30名	若干名	27名	3名		
		醸造学専攻	20名		10名	2名	8名	
		食品安全健康学専攻	20名		8名	6名	6名	
		食品栄養学専攻	6名		2名	1名	3名	
	生命科学	バイオサイエンス専攻	30名	若干名	27名	3名		
		分子生命化学専攻	20名		13名	2名	5名	
		分子微生物学専攻	20名		18名	2名		
	地域環境科学	林学専攻	8名	若干名	7名	1名		
		農業工学専攻	8名		3名	1名	4名	
		造園学専攻	10名		9名	1名		
		地域創成科学専攻	6名		5名	1名		
	国際食料農業科学	国際農業開発学専攻	18名	若干名	16名	2名		
		農業経済学専攻	8名		7名	1名		
		国際アグリビジネス学専攻	10名		6名	1名	3名	
		国際食農科学専攻	7名		3名	1名	3名	
	生物産業学	北方圏農学専攻	7名	若干名	3名	1名	3名	
海洋水産学専攻		5名	4名		1名			
食香粧化学専攻		5名	2名		1名	2名		
自然資源経営学専攻		3名	1名		1名	1名		
博士後期課程	農学	農学専攻	5名	若干名	4名	1名	若干名	
		動物科学専攻	4名		3名	1名		
		生物資源開発学専攻	2名		1名	1名		
		デザイン農学専攻	2名		1名	1名		
		環境共生学専攻	5名		4名	1名		
	応用生物科学	農芸化学専攻	5名	若干名	4名	1名		
		醸造学専攻	2名		1名	1名		
		食品安全健康学専攻	3名		2名	1名		
		食品栄養学専攻	2名		1名	1名		
	生命科学	バイオサイエンス専攻	5名	若干名	4名	1名		
		分子生命化学専攻	3名		2名	1名		
		分子微生物学専攻	3名		2名	1名		
	地域環境科学	林学専攻	2名	若干名	1名	1名		
		農業工学専攻	2名		1名	1名		
		造園学専攻	2名		1名	1名		
		地域創成科学専攻	2名		1名	1名		
	国際食料農業科学	国際農業開発学専攻	2名	若干名	1名	1名		
		農業経済学専攻	2名		1名	1名		
		国際アグリビジネス学専攻	2名		1名	1名		
		国際食農科学専攻	2名		1名	1名		
生物産業学	生物産業学専攻 (農学分野・経営学分野)	8名	若干名	5名	3名			

※募集人員が斜線の専攻は、その入試枠の募集はありません。

3. 入学試験日程

(1) 2026年10月入学

1) 一般入試

農学研究科/国際食料農業科学研究科/生物産業学研究科

入学時期	出願期間	実施研究科	入学試験日	合格発表	入学手続期間
2026年 10月入学	2026年6月1日(月)～11日(木) Web出願(郵送は最終日必着)	農学研究科 国際食料農業科学研究科 生物産業学研究科	2026年 7月11日(土)	2026年 7月17日(金)	2026年 8月20日(木) ～21日(金) 最終日必着

◎出願資格認定試験日は各専攻で設定しています。詳細については「14. 出願資格認定」を確認してください。

(2) 2027年4月入学

1) 一般入試 及び 社会人特別選抜入試

農学研究科/応用生物科学研究科/生命科学研究所/地域環境科学研究科/国際食料農業科学研究科

入学時期	出願期間		入学試験日	合格発表	入学手続期間
2027年 4月入学	1期	2026年6月1日(月)～11日(木) Web出願(郵送は最終日必着)	2026年 7月11日(土)	2026年 7月17日(金)	2027年 2月22日(月) ～3月3日(水) 最終日必着
	2期	2026年12月2日(水)～11日(金) Web出願(郵送は最終日必着)	2027年 1月23日(土)	2027年 1月29日(金)	

生物産業学研究科

入学時期	出願期間		入学試験日	合格発表	入学手続期間
2027年 4月入学	1期	2026年7月29日(水)～8月7日(金) Web出願(郵送は最終日必着)	2026年 9月4日(金)	2026年 9月11日(金)	2027年 2月22日(月) ～3月3日(水) 最終日必着
	2期	2026年12月2日(水)～11日(金) Web出願(郵送は最終日必着)	2027年 1月22日(金)	2027年 1月29日(金)	

◎出願資格認定については「14. 出願資格認定」を確認してください。

2) 学内推薦入試(博士前期課程のみ実施)

農学研究科/応用生物科学研究科/生命科学研究所/地域環境科学研究科/国際食料農業科学研究科/生物産業学研究科

入学時期	出願期間	実施専攻	入学試験日	合格発表	入学手続期間
2027年 4月入学	2026年 5月6日(水)～8日(金) Web出願(郵送は最終日必着)	農学専攻	6/4(木)	2026年 6月10日(水)	2027年 2月22日(月) ～3月3日(水) 最終日必着
		醸造学専攻	6/4(木)		
		食品安全健康学専攻	6/3(水)		
		食品栄養学専攻	6/3(水)		
		分子生命化学専攻	6/5(金)		
		農業工学専攻	6/3(水)		
		国際アグリビジネス学専攻	6/2(火)		
		国際食農科学専攻	6/5(金)		
		北方圏農学専攻 食香粧化学専攻 自然資源経営学専攻	6/5(金)		

○学内推薦入試のオンライン試験対象者について ※希望する場合は、必ず事前に学務課または学生教務課に確認してください。

対象は、大学の正課活動として実施する資格取得に係る以下の実習が入試日程と重複し、対面での受験が出来ない者に限る。

オンライン試験を希望する学生は、出願期間内に担当課に申請し、それぞれの担当課は関係所管との確認を行った上で可否を判断する。

(1) 教員免許状取得に係る教育実習 (2) 学芸員資格取得に係る博物館実習 (3) 司書資格取得に係る図書館実習 (4) 管理栄養士及び栄養士取得に係る臨地実習

4. 出願資格

(1) 一般入試

本学入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）を理解のうえ、
2026年10月入学入試は、次の各号のいずれかの資格を有する者。又は、2026年9月までに学位取得見込の者。
2027年4月入学入試は、次の各号のいずれかの資格を有する者。又は、2027年3月までに学位取得見込の者。
なお、「※」に該当する場合は、出願前に出願資格認定試験を受ける必要があります。詳細は「14. 出願資格認定」を参照してください。

【博士前期課程】

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- ※(9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者の本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると当該研究科等が認めた者
- ※(10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
- ※(11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、当該研究科等の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

【博士後期課程】

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- ※(6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

(2) 学内推薦入試 (出願は専願に限り、合格した場合入学することを前提とします)

2027年3月までに学位取得見込の者で、(1) 一般入試「博士前期課程」の出願資格を有し、希望指導(准)教授の推薦を受けた者で、3年次までのGPAが次の要件を満たす者。

募集専攻	要件
農学専攻	農学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが2.60以上の者
醸造学専攻	醸造科学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが3.00以上の者
食品安全健康学専攻	食品安全健康学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが2.70以上の者
食品栄養学専攻	栄養科学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが2.70以上の者
分子生命化学専攻	分子生命化学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが2.80以上の者
農業工学専攻	生産環境工学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが2.00以上の者
国際アグリビジネス学専攻	アグリビジネス学科(旧国際バイオビジネス学科を含む)の4年次に在籍する学生かつ、3年次までのGPAが2.70以上の者
国際食農科学専攻	国際食農科学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが2.70以上の者
北方圏農学専攻	北方圏農学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが2.30以上の者
食香料化学専攻	食香料化学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが2.60以上の者
自然資源経営学専攻	自然資源経営学科の4年次に在籍する学生 かつ、3年次までのGPAが2.00以上の者

(3) 社会人特別選抜入試 (環境共生学専攻社会人特別選抜入試含む)

農学研究科/応用生物科学研究科/生命科学研究所/地域環境科学研究科/国際食料農業科学研究科

募集専攻	出願資格
環境共生学専攻以外の全専攻	一般入試博士前期課程、又は博士後期課程の出願資格を有する者のうち、原則3年間の職業歴(社会人経験)があるもの
環境共生学専攻	一般入試博士後期課程の出願資格を有する者のうち、原則10年間の職業歴があるもの

生物産業学研究科

募集専攻	出願資格
北方圏農学専攻 海洋水産学専攻 食香料化学専攻 自然資源経営学専攻	一般入試の出願資格に加えて、企業等に1年以上勤務し、志望専攻の専門分野に関する実務経験を原則として持っている者。
生物産業学専攻	一般入試の出願資格に加えて、大学・研究所等に2年以上研究に従事し、所属長の推薦を受けた者。

5. 出願手続きの流れ

- ※「インターネットでの出願」と「書類の提出」の両方が必要です。ご注意ください。
- ※「大学出願ネット」への新規出願登録（ユーザー登録）開始時期は、大学院10月入試、一般入試及び社会人選抜入試については、2027年6月1日(月)から登録可能になります。入試制度ごとの出願期間は、「3. 入学試験日程」をご確認ください。



(1) WEB 出願手続き手順（インターネット）

- ① 「募集要項」と「WEB出願の手引き」を必ず確認してください。

『WEB出願の手引き』URL https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/WEB_Shutugan/

『手引き』

- ② 「大学出願ネット」で出願情報を登録

下記URL『WEB出願』をクリックし、メールアドレスや名前、住所、顔写真、志願情報などを登録、最後に「志願確認票」を印刷します。必ず、「WEB出願の手引き」を確認の上申請してください。

『WEB出願』URL <https://nodai.univentry.net/>



- ③ 入学検定料の支払い

WEBでの「クレジットカード決済」「ペイジー」に対応しているため、ご自宅で支払が可能です。そのほか、「コンビニエンスストアでの支払い」にも対応しています。

- a. 入学検定料：30,000 円

- b. 入学検定料に係わる事務手数料

クレジットカード：700 円 コンビニエンスストア：350 円 ペイジー：500 円

- c. 注意事項

○必要書類送付用封筒に現金・小切手・郵便小為替などを同封したものは受付できません。

○入学検定料のほかに事務手数料がかかります。事務手数料は受験生負担となります。

○出願期限内に入学検定料の支払いがなかった場合は登録情報が無効になります（氏名、連絡先などの個人情報 は除きます）。

○入学検定料の入金後は、登録内容の変更はできません。

○一度納入された入学検定料および事務手数料の返金はできません。

(2) 出願手続き書類の提出

出願期間内(募集要項「3. 入学試験日程」参照)に次ページ記載の出願時提出書類を封筒(角2)※に入れて出願先キャンパスの窓口提出するか、郵便局窓口から「簡易書留・速達」で郵送してください(出願期間内必着)。

※封筒には「受験する研究科名・専攻名・課程、氏名」を必ず記載するようにしてください。

【提出先】

世田谷キャンパス：学務課 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

厚 木キャンパス：学生教務課 〒243-0034 神奈川県厚木市船子1737

オホーツクキャンパス：学生教務課 〒099-2493 北海道網走市八坂196

(3) 受験票を印刷（各自印刷し、試験当日に持参）

大学で出願手続き（WEB・書類）の受付が完了すると、間もなく「出願完了メール」が届きます。メールの案内に従って「受験票」を印刷し、試験当日にお持ちください。

【注意事項】

- 1 本学大学院の出願にはWEB出願手続き完了（大学出願ネット）と出願手続き書類の提出の両方が必要です。必ず出願期間内に手続きと入学検定料の支払いをするようにしてください。

- 2 WEB出願手続きに関することは学務課 [innogaku\(atmark\)nodai.ac.jp](mailto:innogaku(atmark)nodai.ac.jp) (世田谷キャンパス) にお問い合わせください。
※WEB 出願システム上でお問合せいただいても回答できません。必ずメールでお問い合わせください。

その他出願に関することは各キャンパスへお問い合わせください。

特別な配慮を要する方へ

身体の機能等に不自由がある出願者は、選抜試験、入学後の修学および学生生活等において特別な配慮を必要とする場合がありますので、出願開始の1ヶ月前までに必ず各キャンパス窓口へ申し出てください。



6. 出願時提出書類

募集要項・出願様式 <https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/form>

下記表で○または△印の出願書類※1は、市販の角型2号（240×332ミリ）封筒に入れ、受験する研究科のある各キャンパス（学務課、厚木学生教務課または北海道オホーツク学生教務課）へ提出してください。簡易書留郵便・速達で郵送（最終日必着）も受付可能です。

「WEBでの出願手続き」「検定料の支払い」「書類提出」のいずれか1つでも出願期間を過ぎたり不備があったりする場合は受け付けできません。また、出願手続後はいかなる事情があっても書類の変更はできません。なお、いったん納入された検定料の払戻しは行いません。

	出 願 書 類	一 般 入 試	特別入試			備 考
			学内 推薦	社会人 ※環境共 生以外	社会人 ※環境 共生	
1	志願者確認票	○	○	○	○	*大学出願ネット（オンライン）から印刷した様式
2	入学志願者調書（Form1）*	○	○	○	○	希望する指導教授の確認印がない場合は受験不可。海外居住者は、希望指導教授から送付された受入れ許諾に関するメール文面等の印刷物を、確認印の代わりとして提出することも可。
3	卒業・修了（見込）証明書	○	○	○	○	日本語又は英語の原本。
4	成績証明書	○	○	○	○	日本語又は英語であり、願書受付日前3ヵ月以内に発行された原本。
5	研究計画書（Form2）*	—	○	○	○	
6	研究業績書（Form3）*	—	—	△	○	社会人特別選抜入試博士後期課程志願者のみ。
7	推薦書（Form4）*	—	○	—	○	【学内推薦入試】 希望する指導教授によるものとする 【環境共生学専攻社会人特別選抜入試】 現職のあるものは上司によるものとする。 現職のないものは在職中の上司等本人をよく知る人物によるものとする。
8	履歴書（Form5）*	△	—	○	○	【一般入試】 本学の卒業/修了（見込）者以外の外国人志願者のみ提出。学歴欄は、小学校相当以上。 【社会人入試】 学歴欄は高校以上。本学の卒業/修了（見込）者以外の外国人志願者は、小学校相当以上。
9	大学院出願資格認定書の コピー	△	△	△	△	出願資格認定試験を受けた者のみ。
10	学歴認証報告書（英語版）	△	△	△	△	中華人民共和国の教育機関出身の者のみ。 ON-LINEで発行されたものは不可。
11	英語のスコア証明書	△	—	—	—	英語のスコア証明書原本を出願時に提出となっている専攻が対象※2。一般入試筆記試験科目「外国語」欄参照。
12	パスポートコピー貼付書 （Form6）*	△	△	△	△	外国人志願者のみ。顔写真のページのコピーを貼付。
13	日本語能力に関する証明書の コピー <u>※必須ではない</u>	△	—	△	△	外国人志願者のみ。日本語能力試験認定書、日本語学校等が証明する日本語の学力証明書等。

※1○印は必須、△印は該当者のみ

※2 出願書類提出後、スコア証明書の差替えを希望する者は試験当日に試験委員に提出することも可能です。

*Form 1～6は東京農業大学大学院 HP (<https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/form/>) からダウンロードしてください。



外国の大学の証明書を提出する場合の注意事項

(1) 外国における出身学校（出願資格最終学歴）が発行したもので、レターヘッド（用紙の上部に学校名、住所、電話番号）のある専用紙に次の内容が記載されたもの（成績証明書は入学時から最近までの成績が記載されているもの）。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1) 氏名（パスポートと同一のもの） | 4) 卒業（修了）年月* |
| 2) 生年月日*（パスポートと同一のもの） | 5) 取得学位名 |
| 3) 入学年月* | 6) 証明書発行日* |

*西暦で記載のこと

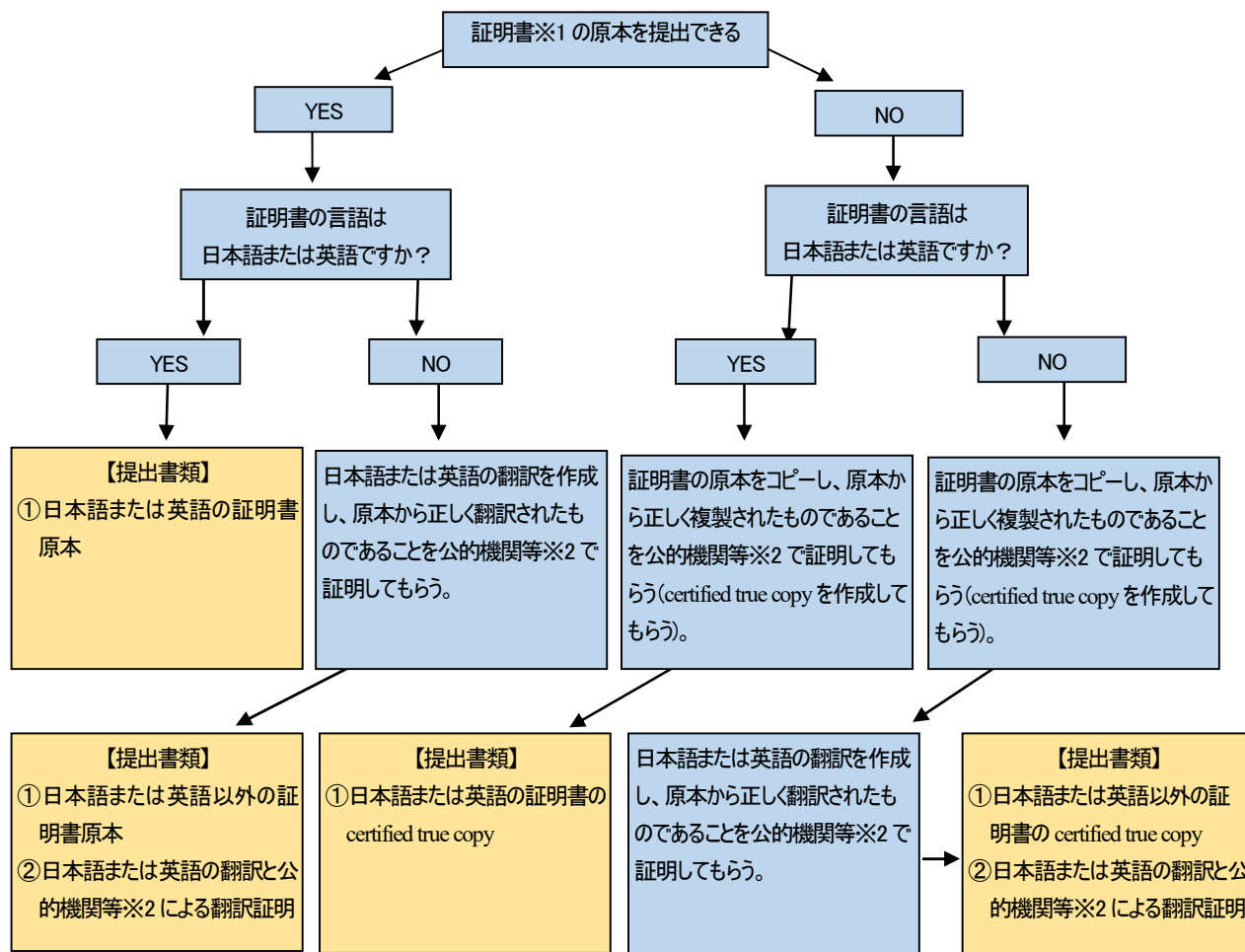
(2) 各種証明書は日本語又は英語のもののみ受け付けます。その他の言語で作成されている場合、英語又は日本語に翻訳のうえ、公的機関等（出身学校・大使館等）で原本と相違ない旨の証明を受けてください。また、インターネットを経由して入手した証明書やカラーコピーで印刷されたものは原則として受理しません。

(3) 原本が提出できない場合、公的機関等※2で certified true copy を作成してもらい、提出してください。

(4) 1つの書類が2枚以上になる場合は、発行元において結合されているか、すべてに氏名と公印が必要になります。

(5) 中華人民共和国の教育機関出身の場合は、学歴認証報告書（英語版* **ON-LINE で発行されたものは不可**）も提出してください。

中国学歴・学籍認証センター（CHSI）日本代理機構 <http://www.chsi.jp>（日本語）



※1 証明書及び証書含む

※2 『公的機関等』とは、大使館や出身学校、CHSI等を含む。

7. 選抜方法及び試験科目

入試制度	選抜方法
一般入試 (10月入学・1期・2期)	筆記試験(次ページ「★一般入試筆記試験科目表」を参照)、口述試験、出身学校の成績等により選抜
学内推薦入試	書類選考、口述試験により選抜
社会人特別選抜入試 (<u>環境共生学専攻以外</u> の全専攻)	<p>【博士前期課程】 書類選考(研究計画書)、口述試験(研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答等)により選抜 生物産業学研究科(北海道オホーツクキャンパス)は、前記に加え筆記試験(外国語:英語・小論文)もあわせて実施</p> <p>【博士後期課程】 書類選考(研究業績書及び研究計画書)、口述試験(研究業績書及び研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答等)により選抜 生物産業学研究科(北海道オホーツクキャンパス)は、前記に加え筆記試験(外国語:英語)もあわせて実施</p>
環境共生学専攻社会人特別選抜入試	書類選考(研究計画書、推薦書)、口述試験(研究業績書及び研究計画書をもとに実施 研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答等)により選抜

試験科目 一般入試筆記試験科目

博士前期課程

専攻	専門科目		外国語 ※1	英語外部試験スコアの条件等
	必修科目	選択科目		
農学	—	作物学、ポストハーベスト学、園芸学、農業環境学、植物育種学、植物病理学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。	—
動物科学	—	動物生殖学、動物遺伝学、動物生理学、動物栄養学、動物衛生学、動物行動学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	英語（TOEIC L&Rスコア原本を入学試験当日に提出もしくは筆記試験から選択）又は日本語から1科目を選択する。	・過去4年間に受験したスコアが対象 ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
生物資源開発学	—	植物多様性学、昆虫学、野生動物学、薬用資源学、遺伝資源利用学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。	—
デザイン農学	—	生物機能開発学、食資源利用学、食機能科学、生活デザイン農学、社会デザイン農学のうちから入学後の研究指導を希望する専門科目1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。	—
農芸化学	農芸化学基礎（生物化学、無機化学、有機化学の各科目の基礎を問う内容）	—	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
醸造学	生化学（微生物学・分子生物学の内容を含む）	—	英語	—
食品安全健康学	生物化学（生化学・分子生物学・有機化学・分析化学の内容を含む）	生体分析科学、リスク評価学、食品開発学、生理活性物質学、生理機能学、生体環境解析学のうちから入学後専修を希望する1科目を選択する。	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
食品栄養学	—	食品生化学、フードシステム管理学、調理科学、栄養生理学、保健栄養学、臨床栄養学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	・評価対象の TOEIC スコアは、大学在学時およびそれ以降に受験のスコアに限る ・TOEIC の公開テストと IP テストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可とする ・スコア証明書原本の提出が無い場合は、英語の評価を 0 点とする ・複数回受験した場合は、いずれか一つのスコア証明書を提出する
バイオサイエンス	分子生物学	—	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	—
分子生命化学	—	分子設計学、有機合成化学、ケミカルバイオロジー、分析化学、生命高分子化学のうちから2科目を試験当日に選択する。	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
分子微生物学	分子微生物学（微生物学、生物化学、分子生物学）	—	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	—
林学	—	森林生態学、治山緑化工学、造林学、林業工学、森林経営学、森林政策学、木材工学、林産化学のうちから入学後専修を希望する特論に関連した科目と他1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	—
農業工学	—	地域資源利用工学、農村環境工学、広域環境情報学、地水環境工学、社会基盤工学、水利施設工学、バイオロボティクス、農産加工流通工学のうちから入学後専修を希望する特論科目に関連した1科目を選択する。	TOEIC L&Rスコア原本もしくは Duolingo English Test 認定証（写し）を出願時に提出	{TOEIC L&R} ・公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可とする ・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） [Duolingo English Test] ・過去4年間に受験したスコアを対象とし、複数ある場合、提出は最高スコアでよい
造園学	—	造園計画・設計学（造園史含む）、造園植物・植栽学、造園施設材料・施工学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	TOEIC L&Rスコア原本を出願時に提出もしくは筆記試験（英語）から選択	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
地域創成科学	—	保全生態学、地域環境保全学、地域環境工学、地域デザイン学のうちから入学後専修を希望する科目1科目を選択する。	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
国際農業開発学	—	熱帯作物学、熱帯園芸学、熱帯作物保護学、農業環境科学、農業開発経済学、農村開発協力学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。	英語	—
農業経済学	—	消費者行動論、食料経済学、フードシステム論、農業経済学、地域社会経済論、環境経済学のうちから入学後専修を希望する1科目を含む2科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。※2	—
国際アグリビジネス学	農業経営学	農業経営組織論、農業経営管理論、農業経営戦略・マーケティング論のうちから入学後専修を希望する特論科目に関連した1科目を選択する。	TOEIC L&R、TOEFL iBT または IELTS Academic のスコア原本を入学試験当日に提出	・評価対象とするテストは、TOEIC L&R、TOEFL iBT、IELTS Academic のいずれかとし、受験期間の制限は行わない。 ・TOEIC L&Rは、公開テストと IP テストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可。 ・TOEFL iBTは、Home Editionも可とするが、ITPやPBTは不可。 ・IELTS academicは、ペーパー版・コンピューター版は可とするが、オンライン版は不可。また、IELTS general trainingは不可。 ・同一試験のスコアは1つのみ提出するものとするが、異なる試験のスコアを保持している場合は複数の提出を認める。
国際食農科学	—	植物生産学、食環境科学、食農政策、食農教育のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	英語	—
北方圏農学	—	作物生産管理学、植物細胞生理学、生態学、家畜生産管理学、動物バイオテクノロジーのうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	英語	—
海洋水産学	—	水産増殖学、海洋生物学、水圏生産科学、水圏生態学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	英語	—

食香粧化学	—	食品製造学、食品化学、生物化学、生物有機化学のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	英語	—
自然資源経営学	—	経営学、経済学のうちから1科目を選択する。地域産業論、会計学、情報処理論、環境経済学のうちから1科目を選択する。	英語（経営学・経済学）、英語（農業経営学・農業経済学）から選択する。	—

博士後期課程

専攻	専 門 科 目	外国語 ※1	英語外部試験スコアの条件等
農学	作物学、ポストハーベスト学、園芸学、農業環境学、植物育種学、植物病理学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。	—
動物科学	動物生殖学、動物遺伝学、動物生理学、動物栄養学、動物衛生学、動物行動学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。	—
生物資源開発	植物多様性学、昆虫学、野生動物学、薬用資源学、遺伝資源利用学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。	—
デザイン農学	生物機能開発学、食資源利用学、食機能科学、生活デザイン農学、社会デザイン農学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。	—
環境共生学	入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目	英語又は日本語から1科目を選択する。	—
農芸化学	土壌肥科学、植物生産化学、栄養生化学、生物有機化学、応用微生物学、食料資源理化学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	英語	—
醸造学	醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、醸造環境科学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	英語	—
食品安全健康学	生体分析科学、リスク評価学、食品開発学、生理活性物質学、生理機能学、生体環境解析学のうちから入学後専修を希望する1科目を選択する。	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
食品栄養学	臨床栄養学、保健栄養学、栄養生理学、食品生化学、フードシステム管理学、調理科学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。	英語	—
バイオサイエンス	専門科目はなし。なお、口述試験は専門性を測るための試問。	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
分子生命化学	専門科目はなし。なお、口述試験は専門性を測るための試問。	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
分子微生物学	資源生物学、バイオフィーマティクス、動物共生微生物学、植物共生微生物学、複合微生物学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	—
林学	森林生態学、治山緑化工学、造林学、林業工学、森林経営学、林政学、木材工学、林産化学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。 ※2	—
農業工学	地域資源利用工学、農村環境工学、広域環境情報学、地水環境工学、社会基盤工学、水利施設工学、バイオロボティクス、農産加工流通工学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	TOEIC L&Rスコア原本もしくはDuolingo English Test認定証（写し）を出願時に提出	【TOEIC L&R】 ・公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可とする ・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） 【Duolingo English Test】 ・過去4年間に受験したスコアを対象とし、複数ある場合、提出は最高スコアでよい
造園学	造園計画学、造園設計学、造園植物学、造園植栽学、造園施設材料学、造園施工学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	英語	—
地域創成科学	保全生態学、地域環境保全学、地域環境工学、地域デザイン学のうちから入学後専修を希望する科目1科目を選択する。	TOEIC L&Rスコア（原本）を出願時に提出	・大学在学時およびそれ以降に受験したスコアに限る（複数ある場合、提出は最高スコアでよい） ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可
国際農業開発学	作物学、園芸学、植物病理学、応用昆虫学、農業環境科学、農業開発経済学、農村開発協力学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。	英語	—
農業経済学	消費者行動論、食料経済学、フードシステム論、農業経済学、地域社会経済論、環境経済学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。	英語又は日本語から1科目を選択する。 ※2	—
国際マネジメント学	農業経営組織論、農業経営管理論、農業経営戦略・マーケティング論のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	TOEIC L&R、TOEFL iBT またはIELTS Academicのスコア原本を入学試験当日に提出	・評価対象とするテストは、TOEIC L&R、TOEFL iBT、IELTS Academicのいずれかとし、受験期間の制限は行わない。 ・TOEIC L&Rは、公開テストとIPテストのどちらでも可とするが、オンライン受験は不可。 ・TOEFL iBTは、Home Editionも可とするが、ITPやPBTは不可。 ・IELTS academicは、ペーパー版・コンピューター版は可とするが、オンライン版は不可。また、IELTS general trainingは不可。 ・同一試験のスコアは1つのみ提出するものとするが、異なる試験のスコアを保持している場合は複数の提出を認める。
国際食農科学	植物生産学、食環境科学、食農政策、食農教育のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	英語	—
生物産業学（農学分野）	植物資源生産学、動物資源生産学、生態学、水産増殖学、水圏生態学、海洋生物学、水圏生産科学、食品開発加工学、生物有機化学、生物化学のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	英語	—
生物産業学（経営学分野）	経営学、経済学、農業経営学、農業経済学、情報処理のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	英語	—

※1 外国語を「英語」以外で受験する場合は必ず各専攻に問合せください。外国語を「日本語」で受験できるのは外国人留学生のみです。

※2 外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。

8. 合否判定基準

出願書類の内容、筆記試験、口述試験の結果を総合的に評価して合否判定を行う。

9. 試験当日に関して

(1) 試験会場

キャンパス	研究科名等	所在地
世田谷キャンパス	農学研究科環境共生学専攻、応用生物科学研究科、生命科学研究所、地域環境科学研究科、国際食料農業科学研究科	東京都世田谷区桜丘 1-1-1
厚木キャンパス	農学研究科（環境共生学専攻除く）	神奈川県厚木市船子 1737
北海道オホーツクキャンパス	生物産業学研究科	北海道網走市八坂 196

(2) 試験時間

試験開始（口述試験は集合時間）後、30分以内に指定の会場に入室できない場合、それ以降の試験は原則受験できません。

入試制度	集合時間等※
一般入試 (10月入学・1期・2期)	世田谷・厚木 集合時間：9時30分（試験会場は9時開場） 試験開始時間：10時 オホーツク 集合時間：8時30分（試験会場は8時開場） 試験開始時間：9時 ※時間は変更する場合がありますので、必ずメールの案内を確認してください。
学内推薦入試 社会人特別選抜入試	試験時間・会場等の詳細は、メールの案内を確認してください。

(3) 持ち物

受験票（大学大学出願ネット出願完了メールの案内に従って「受験票」を印刷し、持参。）
英語のスコア証明書（該当専攻のみ対象。「一般入試筆記試験科目」ページ参照）

(4) 不正行為について

1) 次のことをすると不正行為となることがあります。

- ①カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- ②使用を認められていない用具を使用して問題を解答すること。
- ③受験票(表・裏ともに)をメモ代わりに使用するなど、何らかの書き込みをすること。
- ④試験時間の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- ⑤試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- ⑥試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
- ⑦試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、ウェアラブル端末や携帯音楽プレーヤー等を身に付けていること。
- ⑧試験時間中に、携帯電話・時計・携帯音楽プレーヤーの音(着信、アラーム、振動音等)を鳴らすこと。
- ⑨試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑩試験室において、試験監督者等の指示に従わないこと。

- ⑪試験室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑫志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ⑬試験終了後、解答用紙を提出しないこと。
- ⑭その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

2)不正行為が疑われる場合は、注意をすることや事情を聴取することがあります。

3)試験の際に不正行為があったと認められた場合には、当該年度に行われるすべての入試の受験を認めません。また、受験したすべての入試の成績を無効とします。

10. 合格発表

東京農業大学大学院ホームページ (<https://www.nodai.ac.jp/nodaigs/admission/goukaku/>) に掲載します。



(1) 発表日程 合格発表日については入学試験日程を確認してください。

(2) 合格通知及び入学手続き書類の配付等について

農学研究科／応用生物科学研究科／生命科学研究科／地域環境科学研究科／国際食料農業科学研究科／生物産業学研究科

	合格通知	入学手続き書類
一般入試合格者 社会人特別選抜入試合格者	合格発表日の1週間後以降に郵送	2月上旬 郵送
学内推薦入試合格者	受験したキャンパスの窓口※に取りに来てください。 受取期間：6月18日(木)～24日(水) ※世田谷:学務課／厚木、オホーツク:学生教務課	(10月入試合格者は、合格通知とあわせて郵送)

11. 入学手続き

(1) 入学手続き期間

○10月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2026年8月20日(木)～8月21日(金) 最終日必着

○4月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2027年2月22日(月)～3月3日(水) 最終日必着

※期間中に学費納入、書類提出がない場合は、入学を許可しません。

※郵送の場合は、簡易書留・速達で送付してください(最終日必着)。

※窓口受付時間は9時から17時までです。

(2) 学費の納入期間

○10月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2026年8月12日(水)～8月21日(金)

○4月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2027年2月16日(火)～3月3日(水)

(3) 入学手続提出書類

入学手続書類は、入学手続書類送付用宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒により、郵送もしくは担当窓口へ提出してください。

- ① 入学手続書類確認票
- ② 誓約書
- ③ 新入生個人調査票
- ④ 銀行の領収印のある入学金等振込金連絡票
- ⑤ 本籍地記載の住民票、又は戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）
※外国人の場合は国籍、在留資格及び在留期間が記載された住民票。
※手続期限から3ヵ月以内に発行されたもの。
- ⑥ 卒業（修了）証明書
（本学の卒業・修了（見込）生、及び出願時に提出済の方は必要ありません。）

(4) 入学辞退について

入学を辞退する場合は学務課、厚木学生教務課または北海道オホーツクキャンパス学生教務課に申し出のうえ、「入学辞退届」を期限までに提出してください。

入学辞退届提出期限：10月入学者は8月21日（金）、4月入学者は3月3日（水）

また、入学手続完了後に入学を辞退する場合は、入学金を除く納入金を返還しますので、各キャンパス窓口申し出のうえ「入学金を除く納付金返還請求書」を10月入学者は9月4日（金）、4月入学者は3月12日（金）までに提出してください。

なお、やむを得ず期日を過ぎる場合は、10月入学者は9月30日（水）12時、4月入学者は3月26日（金）12時を最終期限とします。

12. 学費 (入学生納付金) 大学院奨学生制度については次項を参照してください。

研究科	課程	専攻名	大 学 納 付 金					その他の 諸会費	総 計
			入学金	授業料	実験実習演習費	整備拡充費	学生厚生費		
農 学	博士前期	農学専攻	270,000	660,000	289,000	210,000	20,600	20,000	1,469,600
		動物科学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		生物資源開発学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		ゲノム農学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	博士後期	農学専攻	270,000	760,000	318,000	210,000	20,600	20,000	1,598,600
		動物科学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		生物資源開発学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		ゲノム農学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		環境共生学専攻	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600
		環境共生学専攻	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600
応用生物科学	博士前期	農芸化学専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
		醸造学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		食品安全健康学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		食品栄養学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	博士後期	農芸化学専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
		醸造学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		食品安全健康学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		食品栄養学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
生 命 科 学	博士前期	バイオインテンス専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
		分子生命化学専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
		分子微生物学専攻	270,000	660,000	322,000	210,000	20,600	20,000	1,502,600
	博士後期	バイオインテンス専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
		分子生命化学専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
		分子微生物学専攻	270,000	760,000	354,000	210,000	20,600	20,000	1,634,600
地 域 環 境 科 学	博士前期	林学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		農業工学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		造園学専攻	270,000	660,000	270,000	210,000	20,600	20,000	1,450,600
		地域創成科学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
	博士後期	林学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		農業工学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		造園学専攻	270,000	760,000	280,000	210,000	20,600	20,000	1,560,600
		地域創成科学専攻	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
国 際 食 料 農 業 科 学	博士前期	国際農業開発学専攻	270,000	660,000	270,000	210,000	20,600	20,000	1,450,600
		農業経済学専攻	270,000	660,000	135,000	180,000	20,600	20,000	1,285,600
		国際アグリビジョン学専攻	270,000	660,000	135,000	180,000	20,600	20,000	1,285,600
		国際食農科学専攻	270,000	660,000	270,000	210,000	20,600	20,000	1,450,600
	博士後期	国際農業開発学専攻	270,000	760,000	280,000	210,000	20,600	20,000	1,560,600
		農業経済学専攻	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600
		国際アグリビジョン学専攻	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600
		国際食農科学専攻	270,000	760,000	280,000	210,000	20,600	20,000	1,560,600
生 物 産 業 学	博士前期	北方圏農学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		海洋水産学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		食香粧化学専攻	270,000	660,000	300,000	210,000	20,600	20,000	1,480,600
		自然資源経営学専攻	270,000	660,000	135,000	180,000	20,600	20,000	1,285,600
	後博士	生物産業学専攻(農学分野)	270,000	760,000	320,000	210,000	20,600	20,000	1,600,600
		生物産業学専攻(経営学分野)	270,000	760,000	178,000	180,000	20,600	20,000	1,428,600

- 備考 1. 大学納付金の消費税は非課税。
2. その他の諸会費の内訳は、(1) 農友会費1万円、(2) 教育後援会費1万円。

【参考】次年度以降、納付する学費等について（予定）

（博士前期課程は引き続き博士後期課程に進学した場合を含む）

研究科	課程	専攻名	年次			年次			年次			年次					
			授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費	授業料	実験実習 演習費	整備拡充 費			
農学	博士前期	農学専攻	710,000	318,000	190,000	1	760,000	318,000	190,000	2	810,000	318,000	190,000	3	860,000	318,000	190,000
		動物科学専攻	710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		生物資源開発学専攻	710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		デザイン農学専攻	710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
	博士後期	農学専攻	810,000	318,000	190,000	3	860,000	318,000	190,000	/							
		動物科学専攻	810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		生物資源開発学専攻	810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		デザイン農学専攻	810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		環境共生学専攻	810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000								
応用 生物科学	博士前期	農芸化学専攻	710,000	354,000	190,000	1	760,000	354,000	190,000	2	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000
		醸造学専攻	710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		食品安全健康学専攻	710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		食品栄養学専攻	710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
	博士後期	農芸化学専攻	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000	/							
		醸造学専攻	810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		食品安全健康学専攻	810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		食品栄養学専攻	810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
生命科学	博士前期	バイオサイエンス専攻	710,000	354,000	190,000	1	760,000	354,000	190,000	2	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000
		分子生命化学専攻	710,000	354,000	190,000		760,000	354,000	190,000		810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000
		分子微生物学専攻	710,000	354,000	190,000		760,000	354,000	190,000		810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000
	博士後期	バイオサイエンス専攻	810,000	354,000	190,000	3	860,000	354,000	190,000	/							
		分子生命化学専攻	810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000								
		分子微生物学専攻	810,000	354,000	190,000		860,000	354,000	190,000								
地域 環境科学	博士前期	林学専攻	710,000	320,000	190,000	1	760,000	320,000	190,000	2	810,000	320,000	190,000	3	860,000	320,000	190,000
		農業工学専攻	710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
		造園学専攻	710,000	280,000	190,000		760,000	280,000	190,000		810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000
		地域創成科学専攻	710,000	320,000	190,000		760,000	320,000	190,000		810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000
	博士後期	林学専攻	810,000	320,000	190,000	3	860,000	320,000	190,000	/							
		農業工学専攻	810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
		造園学専攻	810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000								
		地域創成科学専攻	810,000	320,000	190,000		860,000	320,000	190,000								
国際食料 農業科学	博士前期	国際農業開発学専攻	710,000	280,000	190,000	1	760,000	280,000	190,000	2	810,000	280,000	190,000	3	860,000	280,000	190,000
		農業経済学専攻	710,000	155,000	180,000		760,000	178,000	180,000		810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000
		国際7'グ'リビ'ジ' 穀学専攻	710,000	155,000	180,000		760,000	178,000	180,000		810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000
		国際食農科学専攻	710,000	280,000	190,000		760,000	280,000	190,000		810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000
	博士後期	国際農業開発学専攻	810,000	280,000	190,000	3	860,000	280,000	190,000	/							
		農業経済学専攻	810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000								
		国際7'グ'リビ'ジ' 穀学専攻	810,000	178,000	180,000		860,000	178,000	180,000								
		国際食農科学専攻	810,000	280,000	190,000		860,000	280,000	190,000								
生物 産業学	博士前期	北方園農学専攻	710,000	320,000	190,000	/											
		海洋水産学専攻	710,000	320,000	190,000												
		食香料化学専攻	710,000	320,000	190,000												
		自然資源経営学専攻	710,000	155,000	180,000												
	後博士	生物産業学専攻（農学分野）	810,000	320,000	190,000		3	860,000	320,000	190,000							
		生物産業学専攻（経営学分野）	810,000	178,000	180,000			860,000	178,000	180,000							

- 備考 1. 本大学院博士前期課程から博士後期課程へ継続して進学する場合、①入学金不要、②整備拡充費は博士前期課程2年次と同額。
 2. 2年次以降の学生厚生費及びその他の諸会費は入学年次の金額と同額。
 3. 留年生（原級、復学を含む）の授業料、実験実習演習費は、その在籍する該当年次生の入学時に定められた金額を適用する。

1 3. 大学院奨学生制度

本大学院では、大学院学生の修学及び研究活動を支援するため、各種奨学金制度を設けています。

◎東京農業大学大学院奨学生

< 目的 >

東京農業大学大学院に在学する人物業とともに優秀な学生に対し、経済援助を行うことにより、学術研究の奨励と有為な人材育成に資することを目的としています。

(1) 第一種奨学生

- ①博士前期課程及び博士後期課程在籍者を対象とします。
- ②奨学金額は授業料の2分の1及び整備拡充費の2分の1でその相当額を減免することによって支給します。
- ③奨学金支給期間は博士前期課程2年間、博士後期課程3年間とします。ただし長期履修生にあつては、入学時に定めた履修期間とします。
- ④奨学生の採用人数は該当者全員とします。
- ⑤外国人留学生のうち文部科学省国費留学生又は他機関からの留学費受給者は対象としない。

(2) 第二種奨学生

- ①東京農業大学学部卒業者であつて大学院に入学した者とします。
- ②奨学金額は入学時入学金を減免することによって支給します。
- ③奨学生の採用人数は該当者全員とします。

(3) 第三種奨学生

- ①博士前期課程及び博士後期課程の私費外国人留学生で、成績及び人物優秀かつ経済的に修学困難な者とし、東京農業大学学部に4年以上在学して卒業した者又は海外協定校を卒業又は修了した者を対象とします。
- ②奨学金額は入学金、授業料及び整備拡充費の全額相当額を減免することによって支給します。
- ③奨学金支給期間は博士前期課程及び修士課程2年間並びに博士後期課程の3年間とします。ただし長期履修生は、入学時に定めた履修期間とします。
- ④奨学生の採用人数は当該専攻の入学定員の2分の1以内とします。
- ⑤文部科学省国費留学生又は他機関からの留学費受給者は対象としない。

◎東京農業大学大学院／学びて後足らざるを知る奨学生

< 趣旨 >

欧州で先端技術を学んだ科学者であり、開拓精神をもった国際人であつた東京農業大学の創設者榎本武揚が、「礼記」から学ぶことの尊さを説いて書いた「学後知不足(学びて後足らざるを知る)」の精神を受け継ぎ、東京農業大学大学院博士後期課程を経て、教員や研究者等、実学教育研究の担い手となる有為な後継者の育成に資することを趣旨としています。

- ①東京農業大学学部に4年以上在学(編入者は東京農業大学短期大学部の在学期間を含む。)して卒業し、本学大学院博士前期課程及び修士課程を修了し、本学大学院博士後期課程に在学している者とします。
- ②本奨学金の趣旨を理解し、本学の実学教育研究の担い手となる教員や研究者等の後継者を志す者とします。
- ③人物及び学業成績が優秀な者とします。
- ④奨学金額は入学金、授業料及び整備拡充費の全額相当額を減免することによって支給します。
- ⑤奨学金支給期間は3年間を限度とします。ただし長期履修生は、入学時に定めた履修期間を限度とします。

※奨学生の注意事項

- ①**奨学生は休学・退学する、又は除籍されると資格を失うので注意してください。**
- ②**奨学生の継続は、毎年審査のうえ、決定します。成績不良の者・素行不良の者・懲戒処分を受けた者は資格を失うことがあるので注意してください。**
- ③第一種奨学生と第二種奨学生は重複することがあります。

◎東京農業大学大学院農学研究科環境共生学専攻特別社会人学生

< 目的 >

大学院農学研究科環境共生学専攻に入学を許可された者で、特別社会人入学生に対し、学校法人東京農業大学授業料等特別減免規程に基づき、納付金等を減免します。

- ①特別社会人学生とは、国際貢献、産業貢献、社会貢献に一定以上の経験と実績を有し、環境共生社会の実現を目指す者とします。
- ②入学金及び授業料の2分の1並びに整備拡充費の2分の1を減免します。
- ③特別社会人学生の期間は、3年間とします。ただし、研究科委員会の意見を聴いて、学長が認めたときは、期間を延長することができます。

14. 出願資格認定

本学大学院入学試験に出願する前に、出願資格を有しているかを「4. 出願資格」で必ず確認してください。出願資格のうち、博士前期課程の(9)(10)(11)、博士後期課程の(6)により出願を希望する場合は、事前に出願資格認定を受けてください。出願資格(1)～(8)に該当する人は認定を受ける必要はありません。

【博士前期課程】(「4. 出願資格」より抜粋)

- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると当該研究科等が認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
- (11) 大学に3年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって、当該研究科等の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

【博士後期課程】(「4. 出願資格」より抜粋)

- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者。

出願資格認定を希望する場合は、希望する指導(准)教授の内諾を得たうえで、学務課、厚木学生教務課または北海道オホーツク学生教務課に申し出て書類を受け取り、提出書類を期間内に提出してください。

なお、出願資格認定試験は専攻ごとに実施しますので、試験日等は専攻に問合わせてください。

(1) 提出書類

- 1) 出願資格認定試験申込書(本学所定様式)
- 2) 履歴書(本学所定様式)
- 3) 最終学歴証明書
- 4) 最終学歴成績証明書
- 5) 返信用封筒(長形3号/資格認定結果通知送付先宛名を記載し、返信用切手110円分を貼付のこと)

※博士後期課程志願者のみ(6)～(8)も提出

- 6) 研究計画書(本学所定様式)
- 7) 研究業績書(本学所定様式)
- 8) 推薦書(本学所定様式)

※「最終学歴証明書(卒業証明書)」「最終学歴成績証明書」は書類受付日前3ヵ月以内に発行されたものに限りま。

※外国の大学・大学院で発行された証明書については、「6. 出願時提出書類 外国の大学の証明書を提出する場合の注意事項」を確認してください。

※書類受理後はいかなる事情があっても書類の変更は受け付けません。

(2) 出願資格認定書類の提出について

市販の角形2号(240×332ミリ)封筒の表に「出願資格認定試験申込書在中」と記入のうえ、**簡易書留郵便・速達**で郵送(最終日必着)もしくは学務課、厚木学生教務課または北海道オホーツク学生教務課へ、以下の期間に提出してください。

○10月入学

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：2026年4月14日(火)～16日(木) 最終日必着

○1期入試

世田谷・厚木キャンパス：2026年4月14日(火)～16日(木) 最終日必着

北海道オホーツクキャンパス：2026年6月10日(水)～12日(金) 最終日必着

○2 期入試

世田谷・厚木・北海道オホーツクキャンパス：：2026年10月6日（火）～8日（木）最終日必着

（3）出願資格認定結果の通知

結果については、申請者宛に郵送により通知します。

「大学院出願資格認定書」は出願の際に必要となりますので、大切に保管してください。

15. 長期履修制度

本学では、職業等に従事しながら学習を希望する者等に対する学習機会の一層の拡大を行うことで、社会人学生等の入学促進と大学院教育及び研究の多様化を図るために長期履修制度を実施しています。

希望者は、あらかじめ指導教員に相談した上で、出願書類と併せて長期履修関連書類を出願期間内に提出してください。出願書類提出時以外は申請できませんのでご注意ください。

長期履修関連書類は各キャンパス窓口で配布していますので、事前に問合せてください。

（1）出願資格

下記のいずれかに該当する者としてします。

- ① 企業等の常勤の職員又は自ら事業を行っている者
- ② 協定締結されたダブルディグリープログラムを希望する者
- ③ 他機関が実施する事業・プログラムへの参加を希望する者
- ④ その他、長期履修することが必要と認められた者

（2）履修期間 **※一旦許可された履修期間は変更できません。**

博士前期課程：4年以内

博士後期課程：6年以内

（3）学費

標準修業年限分の学納金に相当する額を、長期履修期間に応じて分割納付となります。

（4）その他

入学時期は4月のみとなります。

16. 個人情報保護について・問い合わせ先

本学では個人情報の取扱いについて、「学校法人東京農業大学個人情報保護方針」及び「学校法人東京農業大学個人情報保護規程」に則り、適正な取扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。また、本学で取り扱う個人情報は、教育研究及び学生の支援等に必要な業務を遂行するために利用し、当該の目的以外での使用はしません。なお、詳細については東京農業大学ホームページをご参照ください。

<問い合わせ先> ※業務は大学指定の休業日を除く平日 8:30-17:00

世田谷キャンパス	学務課	〒156-8502	東京都世田谷区桜丘 1-1-1
	☎	03-5477-2240	✉ innogaku(atmark)nodai.ac.jp
厚木キャンパス	学生教務課	〒243-0034	神奈川県厚木市船子 1737
	☎	046-270-6225	✉ agri(atmark)nodai.ac.jp
北海道オホーツクキャンパス	学生教務課	〒099-2493	北海道網走市八坂 196
	☎	0152-48-3813	✉ o-kyomu(atmark)nodai.ac.jp